

株式会社タカギ

北九州市で創業し、2021年に60周年を迎えた株式会社タカギ。12月13日、セントシティ9Fに本社機能を移転した北九州オフィスがオープンしました。広々とした1300坪のワンフロアに、管理部門や技術部門、コールセンターなどを集約。移転業務を担当した総務人事部総務課長の坂森俊介さん、ブランディング推進室の野村志乃美さんにインタビューをしました。

(インタビュー実施日：2021年12月14日)

—会社の事業内容について教えてください。

野村：タカギは、庭に水を撒く散水用品や、家庭用浄水器などを製造、販売している会社です。1961年に金型事業から創業し、地元北九州の皆さまに支えていただき60周年を迎えました。園芸散水用品では国内トップシェア、蛇口一体型浄水器は新築マンションの導入率トップとなっています。

—オフィスを移転した背景についてお伺いできますか。

坂森：4、5年前から、小倉南区石田の本社が手狭になってきたという背景があります。食堂や会議室をワークスペースに変更するなど、席数を増やす工夫をしてきましたが、打ち合わせの場所が少なくなり、不自由な状況が続いていました。IT部門の人数が急増したことに加え、さらにコロナ対応で距離を取る必要もあり、職場環境を改善したいという思いがずっとありましたね。

—セントシティに入居を決めた経緯を教えてください。

坂森：2021年1月の取締役会で、正式にセントシティへのオフィス移転が決まりました。やはり、小倉駅前という利便性の高い立地と広さが決め手だったと思います。当社のコールセンターがAIMビルにあったのですが、そこもスペース的に満員の状態でした。コールセンターは立地が良くないと採用が難しいため、場所は重要です。他にも小倉駅北口にIT部門の事務所を借りていたので、分散していた機能をすべてワンフロアに集約することによって、業務効率の向上を目指しました。経営陣としては、小倉の中心地に移転することで、北九州に貢献したいという思いも強かったです。

—新しいオフィスはどのような環境ですか。

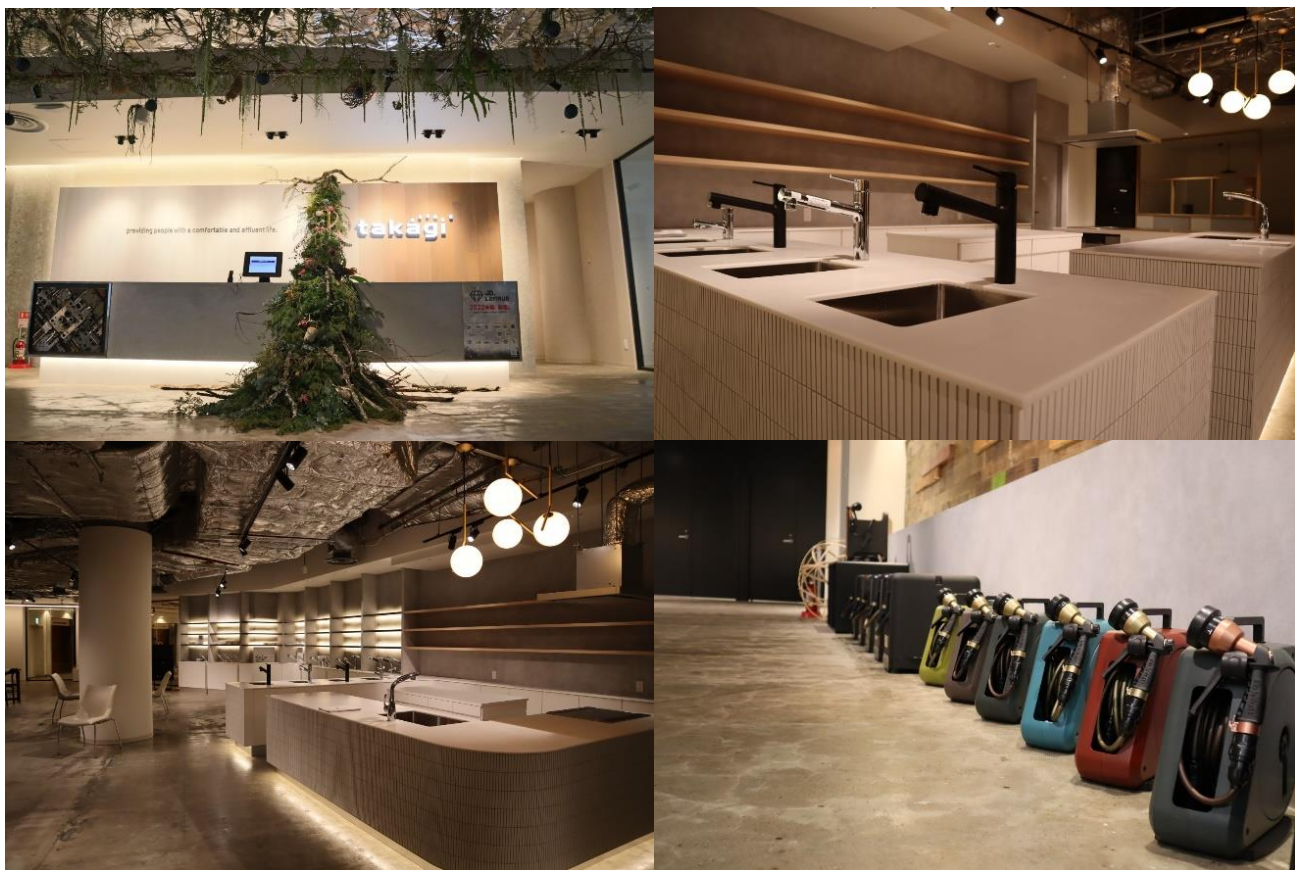
坂森：9階の全フロアが北九州オフィスとなっており、広さは1300坪あります。今まで別々の場所にあった本社事務所、コールセンター、IT部門の坪数を合わせても、2倍以上のスペースになりました。レイアウトのコンセプトは、「コミュニケーションと集中」。さまざまな部署が一つの大きな空間に集まるので、なるべく仕切りをつくらず、部署間のコミュニケーションが取りやすいレイアウトにしました。コールセンターのようにセキュリティの関係で仕切りが必要な場所は、ガラス扉にして壁を感じないデザインにしています。また、「集中」という観点では、多様なタイプのミーティングスペース、個人で集中して作業ができるブース、くつろげるカフェスペースなどを設け、柔軟な働き方ができる環境になっています。

野村：準備段階では各部署から女性を募ってレイアウトチームをつくり、いろいろな意見を反映してきました。その中の一つがパウダールームです。女子トイレの手前に、広くて明るい化粧室をつくりました。とても気持ちがいい空間で、気分が上がります。本社のトイレはかなり年季が入っていたので、ピカピカになって皆さんからも好評です。オフィスがきれいだと入社するのも楽しみです。

ーセントシティの新拠点に期待していることを教えてください。

坂森：受付の傍には、小倉の街を一望できる「ボタニカルラウンジ」があり、得意先のお客様との商談や社員の憩いの場に使えるスペースとなっています。ショールームも広くなりましたので、多くの方々に見ていただきたいですね。小倉の一等地であるセントシティに、約 350 人の従業員と当社のお客さまが出入りすることによって、街に人の流れを生み出し、北九州を盛り上げていければと思っています。

野村：北九州オフィスのオープンを機に、今までなかなか着手できていなかった SNS の発信を行い、広報活動を積極的にしていこうと考えています。若い方たちにもタガギのを知っていただき、興味を持ってもらえたらうれしいですね。



【企業情報】

株式会社タカギ

<https://www.takagi.co.jp/>

事業内容：家庭用園芸用品、家庭用浄水器、省エネ商品の開発、製造、販売・プラスチック射出成形加工・金型事業

所在地：福岡県北九州市小倉北区京町 3-1-1 セントシティ 9 階

本社：福岡県北九州市小倉南区石田南 2-4-1

代表：代表取締役 高城 寿雄

社員数：1,325 人（2021 年 12 月現在）